

令和6年度 第3回 袖ヶ浦市地域総合支援協議会

1 開催日時 令和7年3月19日(水) 午前10時開会

2 開催場所 袖ヶ浦市役所会議室3-1・3-2

3 委員名簿

会 長	関口 幸一	副会長	石井 啓
委 員	手塚 正二	委 員	関口 三枝子
委 員	松田 香	委 員	清川 織恵
委 員	並木 美幸	委 員	剣持 敬太
委 員	清水 由明	委 員	千葉 朋緒
委 員	竹中 講輔	委 員	山上 拓也
委 員	鈴木 大介		

(欠席委員)

委 員	高野 圭介	委 員	竹元 悦子
委 員	小野 隆司	委 員	大熊 賢滋
委 員	池田 美里	委 員	金子 則彦

4 出席職員

障がい者支援課 課長	森本 芳弘
副課長	須藤 浩二
支援班主査	篠原 知華

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人	傍聴人数	0人
------	----	------	----

6 議 題

- (1) 実務者会からの活動報告について
- (2) 相談支援部会からの活動報告について
- (3) 袖ヶ浦市障害者相談支援事業所の実績報告及びケース報告について
- (4) その他

議 事

発 言 者	発言内容・決定事項等
<p>事務局 (須藤副課長)</p>	<p>開 会</p> <p>定刻となりましたので、ただ今より、令和6年度第3回袖ヶ浦市地域総合支援協議会を開会いたします。</p> <p>本日はお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。ただいまの出席委員は、13名であり、委員の過半数が出席しておりますので、袖ヶ浦市地域総合支援協議会設置要綱第6条第2項に規定するとおり、会議が成立したことをご報告いたします。なお、高野委員、竹元委員、小野委員、大熊委員、池田委員、金子委員から欠席のご連絡をいただいていることも併せてお伝えいたします。</p> <p>本日の会議にあたり、袖ヶ浦市地域総合支援協議会設置要綱第6条第4項の規定に基づき、実務者会の活動に関する説明のため、委員以外の者の出席を求めています。あらかじめご承知おきください。</p> <p>次に、本日の会議は、袖ヶ浦市附属機関等の会議の公開に関する要綱に基づき公開となっており、傍聴の受付を行いました。傍聴申し込みはありませんでしたのでご報告申し上げます。</p> <p>また、会議の公開にあたり、本日の協議会は会議録作成のため録音させていただき、要点筆記により取りまとめ、会議録を公開させていただきますので、ご了承ください。</p> <p>続きまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。送付させていただきました資料ですが、会議次第、議題1資料、議題2資料、議題3資料①、議題3資料②となります。ご不足等はありませんでしょうか。</p> <p>なお、議題3資料②につきましては、会議終了後回収させていただきます。それでは、次第に沿って会議に入らせていただきます。</p> <p>はじめに、本協議会の関口会長より、ご挨拶をいただきたいと存じます。</p> <p>(あいさつ)</p> <p>事務局 (須藤副課長)</p> <p>ありがとうございました。 それでは、これより、議事に入ります。 これからの議事進行につきましては、袖ヶ浦市地域総合支援協議会設置要綱第6</p>

	<p>条第1項の規定により、関口会長にお願いいたします。</p>
関口会長	<p>それでは、議題1「実務者会からの活動報告について」、実務者会より説明をお願いいたします。</p>
石井副会長	<p>——「袖ヶ浦市地域総合支援協議会実務者会 報告書（案）」の説明——</p>
関口会長	<p>実務者会のリーダーから順番に、説明をお願いいたします。</p>
子どもチーム （谷）	<p>——「活動の報告、提言」についての説明——</p>
おとなチーム （進藤）	<p>——「活動の報告、提言」についての説明——</p>
高齢チーム （大久保）	<p>——「活動の報告、提言」についての説明——</p>
災害チーム （田丸）	<p>——「活動の報告、提言」についての説明——</p>
普及啓発チーム （萩野）	<p>——「活動の報告、提言」についての説明——</p>
外出チーム （佐久間）	<p>——「活動の報告、提言」についての説明——</p>
関口会長	<p>実務者会の各チームのリーダーの方、ご説明ありがとうございました。</p> <p>普及啓発チームから広報チームへの名称変更、障がいのある方が外出しやすい街づくりチームの「障がいのある方が」を「障がいのある方も」への名称変更についても、併せてご審議いただければと思います。</p> <p>もう一つ、来年度においては地域移行について本格的に始まりますが、地域の受け皿が無いとできないということで、そのような問題をどうするのかという議論をするチームもできれば設けたいと考えています。それに合わせてチームの再編も考えていきたいと思っています。これにつきましては、来年度前半に下準備をしまして、議論を進めながら、この地域総合支援協議会にお諮りし、実施という方向性で考えております。</p> <p>このようなことも含めまして、各チームの報告、提言について、何か質問意見等ございましたらお願いします。</p>
清川委員	<p>普及啓発チームの提言で、精神科病院のMSWとの連携が必要不可欠とありますが、今までの活動の中でMSWとの連携というのが無い中で今回出てきているので、どうしてこうなったのかということと、必要不可欠ということだが、どうい</p>

	<p>ことを思われて使われたのかお聞かせください。</p>
普及啓発チーム (萩野)	<p>今年度課題をあげていく中で、発達障害の困難化するケースが増加しているということが上がってきています。その中で、支援機関が限られているということも課題として上がり、そこで精神科病院などの協力が得られないか、という話がありこちらに上げさせてもらったものです。必要不可欠ということについては、少しオーバー過ぎたのかもしれませんが、この実務者会に病院のソーシャルワーカーの方がいないということで、相談する先が無かったという場合に、もう少しスムーズな相談ができるのではないかとということで上げさせてもらいました。</p>
清川委員	<p>病院に掛かりたいとか、診断を受けたいということですか。</p>
普及啓発チーム (萩野)	<p>病院になかなか掛かれない方が、引きこもりのケースなどであるということで、我々としてもどのように医療とつなげていければ良いのかわからないということがあります。そこで、相談できる先としてソーシャルワーカーの力が必要なのかと思っています。</p>
清水委員	<p>実務者会で具体的にそのような相談をしていくうえで、医療に携わっている人と話した方がわかりやすいということは感じました。ただ、病院としても実務担当者が会議で外に出ていくのは難しい部分があります。相談ごとがあればあげていただいて構わないのですが、毎回、会議に参加していくのは厳しいという感じはしています。</p>
関口会長	<p>この件については、実務者会の中で現時点において具体的に相談する案件があるわけではないので、各チームで相談ごと等が必要になってきた場合には、またご相談させていただくこともあるかもしれませんが、本件については今後検討させていただきたいと思っています。</p>
関口会長	<p>それでは、今の部分は保留といたしまして、「実務者会からの活動報告」について、お諮りいたします。 ご承認いただける方は、挙手をお願いいたします。 全員でございます。 ありがとうございました。</p>
関口会長	<p>続いて、議題2「相談支援部会からの活動報告について」、説明をお願いいたします。</p>
相談支援部会	<p>——「相談支援部会からの活動報告について」の説明——</p>

(山崎)	
関口会長	ありがとうございました。何か、確認したいこと、ご質問がありましたら挙手にてお願いします。
関口会長	相談支援部会からご説明いただきました、今年度の活動報告と来年度の活動計画について、お諮りいたします。 ご承認いただける方は、挙手をお願いいたします。 全員でございます。 ありがとうございました。
関口会長	次に、議題3「袖ヶ浦市障害者相談支援事業所の実績報告及びケース報告について」、本市障害者相談支援事業所から説明をお願いします。
えがお袖ヶ浦 (松田、森、大塚)	・特定事務局 えがお袖ヶ浦 が説明
関口会長	何かご質問等ございましたらお願いします。 特にありませんでしたら、こちらについてはここまでといたします。 続きまして、議題4「その他」について、事務局よりお願いいたします。
事務局 (須藤副課長)	会議録作成について、開会時に事務局よりお伝えいたしましたが、会議録を事務局の方で作成し委員の皆様へ送付いたしますので内容をご確認の上、修正等ありましたらご連絡いただければと思います。皆様の確認が終わりましたら、公開させていただきます。
関口会長	全ての議題が終わりました。これで議事を終了いたします。皆さまご協力ありがとうございました。
事務局 (須藤副課長)	関口会長ありがとうございました。 以上をもちまして、袖ヶ浦市地域総合支援協議会を閉会といたします。本日は長時間にわたり、誠にありがとうございました。

令和6年度 第3回袖ヶ浦市地域総合支援協議会

日時 令和7年3月19日(水)

午前10時00分から

場所 袖ヶ浦市役所北庁舎会議室3-1

次 第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 実務者会からの活動報告について

(2) 相談支援部会からの活動報告について

(3) 袖ヶ浦市障害者相談支援事業所の実績報告及びケース報告
について

(4) その他

4 閉会

袖ヶ浦市地域総合支援協議会会長 様

報 告 書 (案)

令和7年3月19日

袖ヶ浦市地域総合支援協議会実務者会

1 はじめに

実務者会では、令和6年10月18日の袖ヶ浦市地域総合支援協議会の指示にもとづき各チームが活動を重ねて参りました。

今年度の後期の報告、まとめについてご報告いたします。

2 検討状況

資料1のとおり。

3 メンバー

資料2のとおり。

4 報告

(1) 各チームの報告の概要

子どもチーム	市内（外）の福祉施設のデータベース化及び市内の福祉施設について保護者及び子育て支援担当職員向けの資料作成のため、施設情報様式等の検討を行う（書面）。発達支援ルームふたば（袖ヶ浦どろんこ保育園）施設見学。各部署における市事業の連携について。
おとなチーム	ひきこもりの状態にある方の支援に関わっている機関同士で、互いに連携して支援を行うことができるようなネットワークを構築するという目標に向けて、1月ひきこもりの方への支援に関係する機関同士による交流会を開催。
高齢チーム	前年度の活動で「こころとからだの相談窓口」案内チラシ配布の活用を見直し再度活用できるよう検討しました。
災害チーム	前期では研修会を通し現状把握と自己研鑽を行い、今後の活動方針の方向付けを行う。後期では集会や研修会の情報を集め広告活動を行う。他の関連チームと声を掛け合い情報共有及び共同活動を行う。
普及啓発チーム	今期は地域課題などさまざまな問題を練り上げ来年度に向けて活動できるよう土台作りを行った。袖ヶ浦市地域総合支援協議会のホームページの維持管理・各チームの活動内容の更新を引き続き行っていく。地域全体の連携を強化し、住民の生活の質を向上させるため情報発信の効果やニーズを探り、ホームページだけでなく各チームなど様々な方法で情報発信を行っていく。
障がいのある方が外出しやすい街づくりチーム	昨年度作成した袖ヶ浦駅北口ゆりまちモール版の配布をおこなった。配布先に行けない方が情報を得るためのツールとして、過去に作成したマップのQRコードを載せたチラシを作成・配布した。長浦駅前商店街版のリニューアルに伴う情報収集をおこなった。

注 詳細は資料3のとおり

(2) 全体に関する報告

昨年度からのチーム毎の課題を整理し、継続性をもちながら活動が行われた。

5 提言

(1) 各チームからの提言

子どもチーム	後期の活動の中で福施設一覧資料に関する様式が確定したため、令和7年度上半期では市内施設へ施設情報の提供依頼を行う。後期については、情報の整理を行い、袖ヶ浦市内福祉施設のデータベース化、保護者及び子育て支援担当職員向けの資料作成の活動を行う。また、令和5・6年度で実施した市内福祉施設の施設見学について、引き続き実施する。
おとなチーム	今回の交流会の成功を来年度以降の動きに活かして、ひきこもりの方の支援機関同士による連携ネットワーク構築の実現を目指していく。
高齢チーム	配布先拡大検討では、薬局やドラッグストアへの配布等検討。前年度のチラシ内容見直し絞り込みを行い新たに地域の方々の目に届くインパクトある物に作成案を作りました。来年度は、見守りやたすけあいとなる地域の輪を目的とし在宅での支援を受けられていない方の掘り起こしとなる様チラシ活用や配布先の拡大具体案を模索して行く予定です。
災害チーム	<p>避難行動要支援者支援制度の登録対象者についての文言の拡充を提言としたい。救急医療情報キットの配布対象について、避難行動要支援者支援制度と同様に「その他緊急医療時に支援を必要とする方など」又は「※上記以外の方であっても」という形で文言の拡充を提言としたい。</p> <p>来年度は要支援者を支援する団体に向けて支援制度の広告活動を継続していく。他の関連チームと連携を図り、支援の届かない要支援者に向けて支援制度を周知していく。研修会にて災害チーム部員の研鑽を行い、広告活動を通して今後の課題を洗い出していく。障がい者支援課やえがお袖ヶ浦などにも防災に関する啓発チラシの設置を検討する。</p>
普及啓発チーム	より実態に沿った活動を行うために、現在のチーム名から「広報チーム」と変更したい。各チームの活動に参加し、情報発信に努めていく。袖ヶ浦市地域総合支援協議会実務者会のチラシ又はパンフレットを作成し、各チームが地域活動しやすくするために地域の方々に周知活動を行っていく。精神科病院のMSWとの連携が必要不可欠であり、実務者会への参加を検討していく。GHなど入所者の地域移行について専門的チームを開設したらどうか検討していく。引きこもり支援については大人チームが挙げているネットワーク構築に向けて連携を図る。来年度も引き続き社会資源や地域課題の情報収集に努める。

<p>障がいのある方が外出しやすい街づくりチーム</p>	<p>長浦駅前商店街版マップリニューアルは、店舗データの集約は終了した。しかし、これまでのデータ使用が難しい状況もあり、新たに作成をしている状況である。今年度中の完成を見送り、次年度前半での完成・配布をおこないたいと考えている。新たに作成をおこなった、QRコード版チラシについては、地域福祉フェスタでの配布、東京ドイツ村様にもご協力をいただき、チラシを置かせていただいている。次年度は、「観光マップ」「地域のまつり等の情報」の収集をおこない、HPへの掲載や一定のデータが集まった段階で冊子にしていくことを考えている。障がいのあるかたが外出しやすい街づくりチームとの名称について、共生・共存の考えに基づき、障がいのあるかた「も」外出しやすい街づくりチームに名称変更をしてはどうか。</p> <p>メンバーの中には、名刺や名札を持たない方もいた。アンケートを取る際に色々な場所を回る際に、袖ヶ浦地域福祉総合支援者協議会としての名刺なし、名札があると良いとの意見があった。</p>
------------------------------	---

(2) 来年度の活動について

前年度に引き続き、チーム別に上記の提言通り、検討をすすめるものとしたい。

検討状況

会議名	開催日時	会場	メンバー	参加人数	内容
実務者全体会	10月31日(木) 10:00～ 12:00	袖ヶ浦市役所北庁舎3階災害対策室・中会議室	実務者会メンバー	44名	・後期の活動計画について
リーダー会議	2月14日(金) 10:00～ 11:00	袖ヶ浦市役所北庁舎3階中会議室	各チームリーダー	15名	・進捗確認、全体会・本会議へ向けての確認
実務者全体会	3月7日(金) 10:00～ 12:00	袖ヶ浦市役所北庁舎3階中会議室・小会議室	実務者会メンバー	41名	・各チーム後半の活動と本会議提言の最終まとめ

子どもチーム 報告

1、今期及び後期の活動内容のまとめ

- ・市内（外）の福祉施設のデータベース化及び市内の福祉施設について保護者及び子育て支援担当職員向けの資料作成のため、施設情報様式等の検討を行う（書面）。
- ・発達支援ルームふたば（袖ヶ浦どろんこ保育園）施設見学
- ・各部署における市事業の連携について

2、活動経過

- 会議参加：令和6年11月22日（金） 17:30～19:30
コアラの会（君津圏域小児連携の会）情報交換会（君津中央病院）
会議場所：君津中央病院
出席者：1名
内 容：発達支援事業所や放課後デイサービス事業所等の児童支援施設との連携や活動に関する情報交換を行う会への参加
 - ①「災害時小児周産期リエゾン」による令和元年度台風時の活動について
 - ②各施設における災害に向けての準備・取組について
- 施設見学 令和6年11月26日（火） 9:00～11:30
見学場所：発達支援ルームふたば（袖ヶ浦どろんこ保育園）施設見学
出席者：7名
内 容：令和6年4月の新設園である「どろんこ保育園」において実施されている、インクルーシブ保育を活用した発達支援事業を見学。
- チーム会議（書面会議）
第2回 令和6年 2月中
出席者：子どもチーム全メンバー対象
内 容：袖ヶ浦市版 福祉施設一覧資料の施設情報様式について
健康推進課事業「5歳児健診」における各関係部署の取組について
- チーム会議 令和7年3月7日（金） 10:00～12:00（協議会全体会）
出席者：6名
内 容：袖ヶ浦市版 福祉施設一覧資料の施設情報様式の決定について
健康推進課事業「5歳児健診」における各関係部署の取組について

3、提言

後期の活動の中で福祉施設一覧資料に関する様式が確定したため、令和7年度上半期では市内施設へ施設情報の提供依頼を行う。後期については、情報の整理を行い、袖ヶ浦市内福祉施設のデータベース化、保護者及び子育て支援担当職員向けの資料作成の活動を行う。

また、令和5・6年度で実施した市内福祉施設の施設見学について、引き続き実施する。

おとなチーム 報告

1、今期及び後期の活動内容のまとめ

下半期のおとなチームでは、ひきこもりの状態にある方の支援に関わっている機関同士で、互いに連携して支援を行うことができるようなネットワークを構築するという目標に向けて、1月27日にひきこもりの方への支援に関する機関同士による交流会を開催。リモート参加も含めて7つの外部機関から13名の方が参加いただいた。交流会では参加者同士による活発な意見交換を行うことができた。また、ひきこもりの方の支援機関同士による連携ネットワーク構築について参加機関から意見を伺ったところ、どの機関も前向きな印象であった。交流会実施後は多くの参加機関から好評のお言葉をいただいた。

2、活動経過

○ 第6回 11月28日（木）10:00～12:00 袖ヶ浦市役所 中庁舎7階会議室

出席者：7名

内容：ひきこもり方への支援に関する機関同士による交流会の参加依頼について

○ 第7回 12月26日（木）10:00～12:00 袖ヶ浦市役所 中庁舎4階会議室

出席者：7名

内容：ひきこもり方への支援に関する機関同士による交流会の内容について

○ 第8回 1月21日（火）14:00～16:00 袖ヶ浦市役所 北庁舎5階会議室

出席者：6名

内容：ひきこもり方への支援に関する機関同士による交流会開催に向けた最終確認

○ ひきこもり方への支援に関する機関同士による交流会

1月27日（月）14:00～16:00 袖ヶ浦市役所 中庁舎4階会議室

出席者：26名

内容：各機関の活動内容の紹介、袖ヶ浦市における対応事例紹介、支援における課題の共有と意見交換等

○ 第9回 2月13日（木）10:00～12:00 袖ヶ浦市役所 北庁舎5階会議室

出席者：4名

内容：ひきこもり方への支援に関する機関同士による交流会の振り返りと来年度の活動について

○ 地域総合支援協議会実務者全体会

3月7日（金）10:00～12:00 袖ヶ浦市役所 北庁舎3階会議室3-1、3-2

出席者：6名

内容：今年度の振り返りと来年度の活動について

3、提言

今回の交流会の成功を来年度以降の動きに活かして、ひきこもりの方の支援機関同士による連携ネットワーク構築の実現を目指していく。

高齢チーム 報告

1、今期及び後期の活動内容のまとめ

前年度の活動で「こころとからだの相談窓口」案内チラシ配布の活用を見直し再度活用できるよう検討しました。また、新たに地域の方々に分かりやすくチラシを作成検討、配布箇所の拡大を模索して行く。

2、活動経過

第 4 回 10 月 31 日 (木) 10:00 ～ 12:00 市役所北庁 3 階会議室

出席者： 6 名

内容： 前年度のチラシの活用について

第 5 回 11 月 21 日 (木) 13:00 ～ 14:30 市役所中庁 7 階会議室

出席者： 5 名

内容： 地域フェスタパンフレットに織り込んで活用を行う内容について

第 6 回 1 月 16 日 (木) 13:00 ～ 14:30 市役所北 5 階会議室

出席者： 6 名

内容： 織り込みチラシの状況報告及び今後の活動について

第 7 回 2 月 20 日 (木) 13:00 ～ 14:00 市役所 1 階会議室

出席者： 5 名

内容： 今年度の活動集約及びチラシの内容検討まとめ

第 8 回 3 月 7 日 (金) 10:00 ～ 12:00 市役所北庁 3 階会議室

出席者： 6 名

内容： 本会議に向けての提言検討

3、提言

チラシを活用し多くの方々に見てもらう様地域フェスタイベントへのパンフレット参加、市内全体の民生委員の方へ見守り確認参考資料での使用で 600 部印刷を行いました。また、配布先拡大検討では、薬局やドラッグストアへの配布等検討。前年度のチラシ内容見直し絞り込みを行い新たに地域の方々の目に届くインパクトある物に作成案を作りました。

来年度は、見守りやたすけあいとなる地域の輪を目的とし在宅での支援を受けられていない方の掘り起こしとなる様チラシ活用や配布先の拡大具体案を模索して行く予定です。

災害チーム 報告

1、今期及び後期の活動内容まとめ

前期では研修会を通し現状把握と自己研鑽を行い、今後の活動方針の方向付けを行う。

後期では集会や研修会の情報を集め広告活動を行う。

他の関連チームと声を掛け合い情報共有及び共同活動を行う。

災害チームでも自己研鑽しながら、障害を持つ方々に情報が行きやすいような広告活動を検討していく。

2、活動経過

○ 第4回 12月10日(火) 13:30～14:30

出席者： 9名

内容：次回行われる研修会の資料を基に、災害チームとして質問したい内容を纏めた。

○ 第5回 1月17日(金) 14:00～15:30

出席者： 7名

内容：袖ヶ浦市社会福祉施設等連絡協議会主催の研修会に参加、広告活動の実施。

テーマ：「高齢者及び医療的ケア児や重症心身障害児等の災害時の状況と課題」

講師：君津中央病院新生児科 石田 智巳先生

研修会に参加し、研修後参加者に向けて以下の広告活動を行った。

- ・避難行動要支援者支援制度
- ・救急医療情報キット
- ・令和6年度袖ヶ浦市総合防災訓練の開催
- ・ハザードマップ配布のご案内

○ 第6回 2月5日(水) 13:30～14:30

出席者： 9名

内容：研修会の振り返り。

後期の活動内容まとめの話し合い及び、来年度の活動方針の話し合い。

3、提言

避難行動要支援者支援制度の登録対象者についての文言の拡充を提言としたい。

(障害種別を限定することなく障害手帳をお持ちの方及び、避難行動に不安を持たれている方に支援の提供は可能か)

救急医療情報キットの配布対象について、避難行動要支援者支援制度と同様に

「その他緊急医療時に支援を必要とする方 など」又は「※上記以外の方であっても」という形で文言の拡充を提言としたい。

後期の話し合いを踏まえ、来年度は要支援者を支援する団体に向けて支援制度の広告活動を継続していく。

他の関連チームと連携を図り、支援の手が届かない要支援者に向けて支援制度を周知していく。

研修会にて災害チーム部員の研鑽を行い、広告活動を通して今後の課題を洗い出していく。

障がい者支援課やえがお袖ヶ浦などにも防災に関する啓発チラシの設置を検討する。

普及啓発チーム 報告

1、今期及び後期の活動内容のまとめ

- ・今期は地域課題などさまざまな問題を練り上げ来年度に向けて活動できるよう土台作りを行った。
- ・袖ヶ浦市地域総合支援協議会のホームページの維持管理・各チームの活動内容の更新を引き続き行っていく。
- ・地域全体の連携を強化し、住民の生活の質を向上させるため情報発信の効果やニーズを探り、ホームページだけでなく各チームなど様々な方法で情報発信を行っていく。

2、活動経過

- 第8回 3月 7日（金） 10:00 ～ 12:00 袖ヶ浦市役所北庁舎 3階中会議室
出席者： 6名
内 容： 今期のまとめと来年度への活動内容について

3、提 言

- ・より実態に沿った活動を行うために、現在のチーム名から「広報チーム」と変更したい。
- ・各チームの活動に参加し、情報発信に努めていく。
- ・袖ヶ浦市地域総合支援協議会実務者会のチラシ又はパンフレットを作成し、各チームが地域活動しやすくするために地域の方々に周知活動を行っていく。
- ・精神科病院のMSWとの連携が必要不可欠であり、実務者会への参加を検討していく。
- ・GHなど入所者の地域移行について専門的チームを開設したらどうか検討していく。
- ・引きこもり支援については大人チームが挙げているネットワーク構築に向けて連携を図る。
- ・来年度も引き続き社会資源や地域課題の情報収集に努める。

*今年度のチーム活動報告については年度末で調整し、ホームページに載せていく予定。

障がいのある方が外出しやすい街づくりチーム 報告

1、今期及び後期の活動内容のまとめ

- ・昨年度作成した袖ヶ浦駅北口ゆりまちモール版の配布をおこなった。
- ・配布先に行けない方が情報を得るためのツールとして、過去に作成したマップのQRコードを載せたチラシを作成・配布した。
- ・長浦駅前商店街版のリニューアルに伴う情報収集をおこなった。
- ・次年度活動の検討

2、活動経過

- 第4回 9月10日(木) 10:00～11:00 袖ヶ浦市役所北庁舎3階防災対策室
出席者：5名
内容：長浦駅前商店街版マップアンケートについて・次年度の活動検討
- 第5回 10月25日(木) 10:00～11:30 袖ヶ浦市役所北庁舎5階会議室
出席者：5名
内容：長浦駅前商店街版マップアンケート状況確認
- 第6回 12月26日(木) 10:00～11:00 袖ヶ浦市役所北庁舎3階小会議室
出席者：4名
内容：QRコード版チラシ配布状況の周知・長浦駅前商店街版マップ進捗確認
次年度活動について
- 第7回 1月23日(木) 10:00～11:00 袖ヶ浦市役所北庁舎3階小会議室
出席者：6名
内容：QRコード版チラシ配布状況の周知・長浦駅前商店街版マップ進捗確認
次年度活動について

3、提言

- ・長浦駅前商店街版マップリニューアルは、店舗データの集約は終了した。しかし、これまでのデータ使用が難しい状況もあり、新たに作成をしている状況である。今年度中の完成を見送り、次年度前半での完成・配布をおこないたいと考えている。
- ・新たに作成をおこなった、QRコード版チラシについては、地域福祉フェスタでの配布、東京ドイツ村様にもご協力をいただき、チラシを置かせていただいている。
- ・次年度は、「観光マップ」「地域のまつり等の情報」の収集をおこない、HPへの掲載や一定のデータが集まった段階で冊子にしていくことを考えている。
- ・障がいのあるかたが外出しやすい街づくりチームとの名称について、共生・共存の考えに基づき、障がいのあるかた「も」外出しやすい街づくりチームに名称変更をしてはどうか。
- ・メンバーの中には、名刺や名札を持たない方もいた。アンケートを取る際に色々な場所を回る際に、袖ヶ浦地域福祉総合支援者協議会としての名刺ないし、名札があると良いとの意見があった。

袖ヶ浦市地域総合支援協議会会長 様

報 告 書 (案)

令和7年3月19日

袖ヶ浦市地域総合支援協議会相談支援部会

相談支援部会 報告

1、後期及び今期の活動内容のまとめ

今年度後期も毎月一回開催した。

後期の活動では 11 月に基幹相談支援センター主催で「市内児童向けサービス事業所との交流会」、12 月には「君津市内事業所（就労継続支援 A 型アレッタ、自立訓練エコル）見学」を実施。1 月は定例会議に現任研修の実習生が事例検討に参加した。

グループスーパービジョンでは各事業所から難しいケースを提出していただき、アイデアを出しながら検討する形で実施した。後期は 3 事業所のケースを検討。また、参加メンバーからの近況報告や新しくできた事業所の情報共有、教えて欲しいこと等を出し合い意見交換を行った。

2、活動経過

- ・第 7 回 10 月 31 日（木）10：00～12：00 袖ヶ浦市役所北庁舎 3 階中会議室
出席者 8 名
内容：全体会、情報交換
- ・第 8 回 11 月 21 日（木）10：00～12：00 袖ヶ浦市役所北庁舎 3 階中会議室
出席者 8 名
内容：基幹相談主催「市内児童向けサービス事業所との交流会」
- ・第 9 回 12 月 19 日（木）10：00～12：00
出席者 7 名
内容：事業所（君津市内：就労継続支援 A 型アレッタ、自立訓練エコル）
- ・第 10 回 1 月 16 日（木）10：00～12：00 袖ヶ浦市役所北庁舎小会議室
出席者 10 名
内容：グループスーパービジョン（事例提供：くらなみ）情報交換
- ・第 11 回 2 月 20 日（木）10：00～12：00 袖ヶ浦市役所北庁舎 3 階小会議室
出席者 5 名
内容：グループスーパービジョン（事例提供：えにし、晴）情報共有
- ・第 12 回 3 月 7 日（金）10：00～12：00 袖ヶ浦市役所北庁舎 3 階中会議室・小会議室
出席者 7 名
内容：前半の活動のまとめ、来年度について

3、提言

来年度も月 1 回定期的に開催し、グループスーパービジョン、制度等についての勉強会、見学会等（近隣市の事業所、特例子会社等）の設定、意見交換を予定。事例について検討するだけでなく、経過報告をすることを継続していく。また、福祉の事業所だけではなく地域の資源を知ることによって他機関との連携を重視し、相談支援専門員のスキルアップを図れるように努めていきたいと考えている。

袖ヶ浦市相談支援事業所の実績報告等について

新規ケースの内訳（令和6年4月～令和7年2月）

	新規ケース	その後の継続相談	相談経路	
			障がい者支援課	関係機関
身体	7	4	2	民…1, 自…1 高…1, 包…1
身体・児童				
重心	1			
知的	12	7	8	自…1
知的・児童	4	1		自…1
精神	45	20	15	包…1, 君…1, 自…12, 他…1, 地…2
精神・児童				
発達	3	2	2	自…1
発達・児童	8	2	5	
高次脳機能	2	1	1	病…1
他	2		1	
他・児童				
難病				
不明	6	2	2	自…2
不明・児童	17	1	8	発…1
非該当				
合計	107	40	44	28

※他…障害あり 不明…障害があるかも分からない

※地→地域福祉課 自→自立相談支援室 高→高齢者支援課 包→地域包括支援センター
君→君津ふくしネット 民→民生委員 病→病院 発→千葉県発達障害者支援センター

今年度の新規ケース数は107件であり、昨年度よりも増加傾向である。また新規ケース107件の内、障害の診断を受けている方が全体の76%占めている。残りの24%は障害が不明の方やその他にあたる方になっており、今まで福祉サービスに繋がっていなかった方の相談が年々増加傾向にある。

その後の継続相談とは、新規ケースの内、初回の相談で解決せず継続的に相談を続けたケ

ースを表す。全体で見ると 37% (40 ケース) が継続相談になっており、身体 4 ケース、知的 8 ケース、精神 20 ケース、発達 4 ケース、他・不明 4 ケース継続相談がなされている。また初回のみ相談は、サービスの利用など事業所の紹介等で複数回の相談に至らないケースである。

障がい者支援課からの相談経路とは、直接当相談所に来所せず、障がい者支援課の窓口を経由してくる相談のケースを表す。窓口での対応が困難な場合や専門性が高い場合などのケースの相談経路となっている。また近年、他の課からの相談も増加傾向にある。また障がい者支援課や他機関を経由したケースが半数以上占めている。

障がい者支援課と当相談所が密接な環境が整っていることで、相談者にとっても出直しをせず、流れを止めずに出来る為、相談がしやすいと思われる。また、障がい者支援課の担当者が同席することや一緒に訪問等をすることもあり、相談が迅速に進む事が出来る等、連携のとれやすい関係となっている。

引き続き関係機関と連携して対応を進めていきたい。

ケース検討会議

期 日	件数
4月 5日(金)	20
4月12日(金)	26
4月19日(金)	13
4月26日(金)	21
5月10日(金)	35
5月17日(金)	26
5月24日(金)	19
5月31日(金)	19
6月 7日(金)	20
6月14日(金)	19
6月21日(金)	22
7月 5日(金)	18
7月12日(金)	18
7月26日(金)	31
8月 2日(金)	20
8月 9日(金)	30
8月23日(金)	34
8月30日(金)	26
9月 6日(金)	21
9月13日(金)	24
10月 4日(金)	41
10月18日(金)	28
11月 8日(金)	44
11月15日(金)	28
11月22日(金)	22
12月 6日(金)	30
12月13日(金)	16
12月20日(金)	22
12月27日(金)	15
1月10日(金)	19
1月17日(金)	16
1月24日(金)	21
2月 7日(金)	24
2月14日(金)	12
2月21日(金)	25

袖ヶ浦市障害者相談支援事業所「えがお袖ヶ浦」の活動実績について

○令和6年度実績(令和6年4月～令和7年2月)

	身体障害	重度心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他	計
訪問	5	0	26	49	2	0	9	91
来所相談	15	1	117	130	22	2	28	315
同行	6	0	27	17	0	0	3	53
電話相談	17	0	70	92	12	3	18	212
電子メール	9	0	0	1	0	0	0	10
個別支援会議	33	0	92	166	12	4	36	343
関係機関	92	0	183	284	22	7	57	645
その他	0	0	6	8	0	1	4	19
計	177	1	521	747	70	17	155	1,688
対前年比	76	△ 1	115	30	△ 22	15	9	222

【参考】

○令和5年度実績(令和5年4月～令和6年2月)

	身体障害	重度心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他	計
訪問	1	0	15	32	1	0	2	51
来所相談	12	0	65	129	15	1	32	254
同行	1	0	13	9	1	0	0	24
電話相談	21	0	51	124	26	0	17	239
電子メール	2	0	0	0	0	0	0	2
個別支援会議	28	0	122	230	28	1	51	460
関係機関	36	2	140	189	20	0	43	430
その他	0	0	0	4	1	0	1	6
計	101	2	406	717	92	2	146	1,466
対前年比	△ 43	△ 3	142	102	47	△ 4	△ 13	228

○令和4年度実績(令和4年4月～令和5年2月)

	身体障害	重度心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他	計
訪問	2	0	4	25	0	0	1	32
来所相談	18	1	26	59	10	2	21	137
同行	0	0	5	2	0	0	0	7
電話相談	30	0	41	209	6	0	29	315
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	50	1	102	188	18	3	69	431
関係機関	43	3	86	131	11	1	38	313
その他	1	0	0	1	0	0	1	3
計	144	5	264	615	45	6	159	1,238
対前年比	74	△ 15	△ 35	281	△ 29	3	20	299